

表題 前十字靱帯再建術の移植腱の違いによる臨床成績の比較-後ろ向き観察研究-についてのご説明

はじめに 前十字靱帯再建術は成績向上のため世界的に基礎、臨床研究が重ねられ年々改良が進んでいる。2009年に我々の研究グループから提唱された解剖学的再建術により成績は安定し普遍的な手法として世界的に広がりを見せております。この新しい術式においてより患者さんの身体的特徴やスポーツ種目など多くの因子に合わせた最適な治療法の選択を調査しています。

研究対象 札幌医科大学附属病院、帯広協会病院、中野整形外科病院において2011年1月1日から2016年12月31日までに関節鏡視下前十字靱帯再建術を受けられた方を対象にしています。

研究内容 当科で患者さんの術前検査（身長体重、年齢、性別、X線、MRI画像、関節動揺性測定結果、理学所見、問診内容）と術後経過（筋力、理学所見、関節動揺性試験、X線、CT検査、スポーツ復帰時期などの問診内容や5 択式患者立脚評価法、抜釘時の関節鏡所見）を手術手技、移植腱の選択、使用するインプラントの違いとどのように関係しているか解析します。通常診療以上の検査を行うことはありません。

患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。まだデータファイルの保管はインターネットアクセスのできないPCにのみ保管しており解析もそこでのみ行われ持ち出しを行いません。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

2011年1月1日から2016年12月31日までの間、本院で関節鏡視下前十字靱帯再建術を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡ください。

研究期間 2012年3月13日から2023年3月31日まで

予定症例数 当院100症例（全体200症例）

医学上の貢献研究結果は前十字靭帯損傷の病態解明と患者さんにあった靭帯再建手術の選択や新しい手術方法の開発の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

問い合わせ先 〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目
札幌医科大学附属病院整形外科
本院研究責任者 神谷智昭
平日、休日、時間外 tel 011-611-2111 内線 33330(教室)